

国語

○試験開始のチャイムが鳴るまで問題用紙を開いてはいけません。

○解答用紙に組・出席番号・氏名を必ず書くこと。

○質問があれば静かに手を挙げて、監督の先生を呼びましょう。

○字は楷書で丁寧に書くこと。読めないものは採点できません。

○抜き出して答える問題は、漢字が間違っているでも抜き出し箇所が正しければ正答とします。ただし、明らかに異なる漢字を書いている場合や、漢字間違っているによって意味が変わってしまう場合は誤答とします。

○「なぜですか」「なぜ〇〇ですか」という問いには、「～だから。」「～から。」「～という形で答えましょう。」

「どいつのことですか」という問いには「～と。」「～という形で答えましょう。」守れていない解答は減点します。

○分かる問題から解いていきましょう。

○見直しは必ずしましょう。

○最後まで諦めずに取り組みましょう。

【読む】「経節 世界に誇る伝統食」

【知識】「単元別漢字P36～45」「助詞・助動詞」

「書写 楷書・行書(配布プリント)」

「青(赤)プリント4～6」

【古典】「枕草子・徒然草(P123は除く)」

「平家物語」(祇園精舎・那須与一・弓流)

「漢詩」(漢詩の形式・黄鶴楼・春望)

一、次の傍線部の漢字は読みを答え、ひらがなは漢字で答えなさい。楷書で丁寧を書くこと。〔知識・各1点〕

- | | | | |
|--------------|------------|-------------|--------------|
| ① 計報が届く。 | ② 会議に諮る。 | ③ 謙遜する。 | ④ 警鐘を鳴らす。 |
| ⑤ 群衆を扇動する。 | ⑥ 幾何学の先生。 | ⑦ 商品を卸す。 | ⑧ 一房のぶどう。 |
| ⑨ 逸話を書く。 | ⑩ それは必須だ。 | ⑪ じゆうを構える。 | ⑫ けいりゆうにすむ魚。 |
| ⑬ しがいせんを浴びる。 | ⑭ ずいひつを書く。 | ⑮ こけいだんを読む。 | ⑯ しよぎようむじよう。 |
| ⑰ 学業をおさめる。 | ⑱ 税をおさめる。 | ⑲ 良書をすすめる。 | ⑳ 入会をすすめる。 |

二、次の各問いに答えなさい。〔知識・各1点〕

(1) 次の熟語の類義語を、次のア～シから一つずつ選びなさい。

- | | | | | |
|------|------|------|------|------|
| ① 拒否 | ② 向上 | ③ 手段 | ④ 意外 | ⑤ 心配 |
| ア 否認 | イ 存外 | ウ 向学 | エ 方法 | オ 以外 |
| キ 例外 | ク 拒絶 | ケ 進歩 | コ 安否 | サ 作法 |
| | | | | シ 不安 |

(2) 次の熟語の対義語を、次のア～シから一つずつ選びなさい。

- | | | | | |
|------|------|------|------|------|
| ① 理想 | ② 有名 | ③ 過失 | ④ 複雑 | ⑤ 安全 |
| ア 失意 | イ 完全 | ウ 単純 | エ 現実 | オ 基本 |
| キ 無名 | ク 故意 | ケ 事実 | コ 失敗 | サ 危険 |
| | | | | シ 繁雑 |

(3) 次の「緑」の書体について問いに答えなさい。

緑

① この書体の名称を漢字二字で答えなさい。

② この書体で字を書くのに最も適した場面を、次のア～エから一つ選びなさい。

- | |
|------------------------|
| ア 検定試験の申込書を書くとき |
| イ 漢字テストで漢字を記入するとき |
| ウ 小学生向けの学校案内を書くとき |
| エ 職場体験でインタビューしてメモをとるとき |

(4) 次の傍線部と意味・用法が同じものをそれぞれア～エから選びなさい。

- | | | |
|---------------------------------------|---------------------|------------------------|
| ① 映画は九時から始まり <u>ます</u> 。 | ア 大豆から豆腐を作る。 | イ 寝不足から <u>ミス</u> をする。 |
| ウ 値段が高いから買えない。 | エ 明日から夏休みです。 | |
| ② <u>ごはん</u> を三杯も <u>食べる</u> とは、すごいね。 | ア テスト前なので、三時間も勉強した。 | イ 明日も晴れるといいなあ。 |
| ウ 国語も理科も、とても勉強した。 | エ 三分もあれば解ける。 | |

③ ぼくは教室に行くのだが、君はどうする。
ア 明日は休みですが、何か予定はありますか。
ウ 困ったことになったが、何とかなるだろう。
イ えらい人へのあいさつが、うまくできない。
エ 日陰は寒いが、日なたはあたたかい。

④ どうすれば正解を導き出せるか。

ア なんだ、そうか。 イ そんなことがあるものか。
ウ 海へ行かないか。 エ どっちが勝ったのか。

⑤ 私は暑いのが苦手だ。

ア 引越しの準備をする。 イ 一番大きいのを買った。
ウ 紅葉の美しい山に行く。 エ 君も野球部に入ったの。

⑤ 次の傍線部の意味・用法として適切なものをあとのア～タからそれぞれ選びなさい。

① 甘いものを食べたい。

② 君も一緒に行く。

③ 総理が町に来られる。

④ 昨日は雨が降った。

⑤ 大人になったら考えよう。

⑥ 太陽のような人だ。

⑦ 彼には勝てない。

⑧ 五十キロはある。

⑨ よくれた手を洗う。

⑩ 弟を本屋に行かせる。

⑪ 人に道を聞かれる。

⑫ 外は風が強いぞうだ。

⑬ 甘いものを食べない。

ア 使役	イ 受け身	ウ 尊敬	エ 過去	オ 存続	カ 否定	キ 希望
ク 意志	ケ 勧誘	コ 推量	サ 比喩	シ 様態	ス 伝聞	セ 丁寧
ソ 否定の意志	タ 否定の推量					

三、次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。〔読む〕

荒節の表面を削って整形したら、次はいよいよカビ付けとよばれる工程です。節を四、五日間日光で乾燥させてから、カビ付け用の桶に並べます。この桶は何十年と使っているので、桶の内側には鏝節菌がたくさんすみ着いています。鏝節菌というのはカビの一種で、カビといっても、病気や腐敗を起す悪玉カビではなく、

①人間にとっていい仕事をしてくれる善玉カビです。このカビ桶に節を入れておくと、一週間から十日で節の表面全体にびっしりとカビが生えてきます。これを一番カビといいます。十日目辺りでいったんこれを取り出し、はけできれいにカビを落として再び日干しし、再度カビ桶に入れると、一週間から十日でまたカビが密生してきます。これが二番カビです。この後同様の操作を繰り返し、三番カビ、四番カビまで付けて、ようやく鏝節はできあがりです。

この間、鏝節菌は何をしているかというと、実は節からどんどん水分を吸い取っているのです。カビは、ほかの微生物に比べその生育にたいへん多くの水分を必要とします。湿度の高い梅雨時にさまざまなカビが生えてくるのもそのためです。鏝節菌はまず節の表面でびっしりと繁殖して、そこから水分を吸い取って生きていきます。節の表面の水分が吸い取られると、そこは乾燥状態になるので、更に奥の水分がその乾燥した表面ににじみ出てきます。鏝節菌はまたその水分を吸い取ります。こうして、三番カビ、四番カビが生えてきた頃には、節の内部の水分はほとんどなくなっています。

【A】カビ付けの工程で、鏝節菌にどんどん水分を吸い取らせることによって、鏝節を硬く乾燥させているのです。

それにしても、なぜこんなに手間暇かけて鏝節を乾燥させるのか、皆さんは不思議に思いませんか。乾燥しているというにはどんな意味があるのでしょうか。

②例えば、「ここに生のイカとスルメがあるとします。これらをしばらく放置すると、生のイカには腐敗菌が付きます。生のイカには水分がたっぷりあるため腐敗菌はみるみる繁殖して、イカはすぐに腐ってしまいます。ところが、乾燥したスルメでは、同じ腐敗菌が「あ、スルメだ。これはうまそうだぞ。」と食いついたとたんに即死してしまいます。スルメは乾燥しているため、腐敗菌の細胞の水分は逆にスルメに吸収されてしまい、腐敗菌は死んでしまうのです。生のイカが腐り乾燥したスルメが腐らないのは、そういう理由からです。スルメを腐らせようと思つたら水に浮かせておけばすぐに腐ります。

つまり、乾燥した食べ物、微生物が増殖できないために腐らない。鰹も乾燥させることで、保存ができるようになるのです。

今の鰹節のようにいぶしてから乾燥し、カビ付けをするようになったのは、江戸時代の元禄年間（一六八八年～一七〇四年）の頃といわれています。湿度の高い環境を好むカビの性質をみごとに見ぬいた鰹節の製法は、世界に類例がなく、我が国の先達たちの知恵の深さとユニークな発想には舌を巻きます。③鰹節菌を巧みに応用した驚異の乾燥術は、食べ物を保存するための、冷蔵庫のなかった昔からの偉大なる知恵なのです。

- (1) 傍線①とありますが、どのような仕事をしてくれるのか。「乾燥させる。」に続くように文章から十五字で抜き出して答えなさい。（1点）

- (2) 傍線②とありますが、筆者は何のためにイカとスルメを持ち出したのですか。最も適するものを次から一つ選びなさい。（1点）

ア スルメを腐らせようと思つたら、水に浮かせておけばよいことを教えるため。

イ 水分がある食べ物には、腐敗菌が付いてみるみる繁殖することを説明するため。

ウ 乾燥した食べ物、腐敗菌の水分を吸収するため、微生物が増殖できないことを示すため。

エ イカとスルメとは、腐敗菌の付き方や増殖の仕方が全く異なることを示すため。

3

- (3) 傍線③と同様の内容を述べた部分を文章中から三十字以内で抜き出し、初めと終わりの五字を書きなさい。（1点）

- (4) 「A」に当てはまる言葉として適切なものを次から一つ選びなさい。（1点）

ア なぜなら イ このように ウ しかし エ また

- (5) 次の各文が、この文章の内容や書き方の特徴と合っていれば○、合っていなければ×を書いて答えなさい。（各1点）

ア 鰹節を作るときには、鰹節菌というカビの力を利用している。

イ いぶしてから乾燥しカビ付けするという製法は、江戸時代に始まる。

ウ 鰹節は「荒節」になってから十日間ほどでできあがる。

エ 話題を変えるときに、読み手に問いかける形で、はっきりそれと分かる言葉を使って示している。

オ 冷静で客観的な説明を貫いていて、感情を表したり感想を述べたりすることを避けている。

四、次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

春はあけぼの。①やうやう白くなりゆく②山際、少し明かりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる。夏は夜。月の頃はさらなり、闇も③なほ、螢の多く飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くも【】。雨など降るも【】。秋は夕暮れ。夕日の差して山の端いと近うなりたるに、鳥の寝所へ行くとして、三つ四つ、二つ三つなど飛び急ぐさへあはれなり。まいて雁などの連ねたるが、いと小さく見ゆるは、いと【】。日入り果てて、風の音、虫の音など、はた言ふべきにあらず。冬はつとめて。④雪の降りたるは言ふべきにもあらず、霜のいと白きも、またさらでもいと寒きに、火など急ぎおこして、炭持て渡るも、いとつきつきし。昼になりて、ぬるくゆるびもていけば、火桶の火も、白き灰がちになりて⑤わろし。

(1) 作者は、次の季節のどの時間帯について書いていますか。現代語に訳して答えなさい。(各1点)
ア 春 イ 冬

(2) 傍線①・③を現代仮名遣いに直して書きなさい。(各1点)

(3) 傍線②の意味を次から一つずつ選びなさい。(1点)

ア 空と雲の境 イ 山の、空に接する部分
ウ 空の、山と接するあたり エ 山の頂上

(4) 傍線④の現代語訳として適切なものを、次から一つ選びなさい。(1点)

ア 雪が降っていることなどは、ないものだ。
イ 雪が降っているのは、言うまでもなくよいものだ。
ウ 雪が降っていると、口に出して言うてはいけないものだ。
エ 雪が降っているとき、知らせたほうがよいとは言えないものだ。

(5) 傍線⑤とありますが、何が「わろし」なのか。次から一つ選びなさい。(1点)

ア 雪が降らない朝 イ 雪や霜がないのに寒い朝
ウ 炭を部屋へと運ぶ姿 エ 白い灰ばかりになった火桶の火

(6) 文章中の【】には同じ言葉が入ります。歴史的仮名遣いで、三字で答えなさい。
また、その言葉の意味を簡潔に書きなさい。(各1点)

(7) この文章に表れている作者の感性として、適さないものを次から一つ選びなさい。(1点)
ア 桜や梅などの春を代表する風物ではなく、空の色の微妙な変化から春らしい情趣を感じ取っている。
イ 夏の夜は、月明かりの下で螢が飛び交うような、二つの光が輝く様子が美しいと感じている。
ウ 秋の情趣を、視覚だけでなく聴覚でも捉えている。
エ 自身がよいと感じただけでなく、嫌だと感じたものについても悪いとはっきり述べている。

(8) この文章の作者と作品名をそれぞれ漢字で答えなさい。(各1点)

五、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

仁和寺にある法師、年寄るまで石清水を拝まざりければ、①心憂く覚えて、あるとき思ひ立ちて、ただ一人、徒歩より②詣でけり。極楽寺・高良などを拝みて、かばかりと心得て帰りにけり。

さて、かたへの人にあひて、「年ごろ思ひつること、果たしはべりぬ。聞きしにも過ぎて③尊くこそおはしけれ。そも、参りたる人ごとに山へ登りしは、何事かありけん、ゆかしかりしかど、神へ参るこそ本意なれと思ひて、④山までは見ず。」とぞ言ひける。

⑤少しのことにも、先達はあらまほしき」となり。

(1) 傍線①とありますが、どのようなことを「心憂く覚え」たのですか。現代語で簡潔に答えなさい。(1点)

(2) 傍線②の主語を文章中から八字で抜き出して答えなさい。(1点)

(3) 傍線③の部分で用いられている表現について、次の文章の【A】【B】に当てはまる言葉を書きなさい。

【B】は漢字で答えること。(各1点)

○この部分は、通常なら文末が「けり」となるところだが、「尊く」を強調するために、途中で助詞の【A】が入ったことで、文末が「けれ」に変化している。このような表現を【B】という。

(4) (3)の【B】が用いられている部分が、傍線③の他にもう一か所あります。法師の台詞以外の文中から六字で抜き出して答えなさい。句読点は含みません。(1点)

5

(5) 傍線④とありますが、法師がそのようにした理由として最も適切なものを次から一つ選びなさい。(1点)

ア 石清水は山の上にないと知っていたから

イ 仲間の人に自慢したかったから

ウ 神より高い位置に登るのは失礼なことであったから

エ 神へ参るという本来の目的は果たしていたから

(6) 傍線⑤は「少しのことにも、指導者がいてほしいものである。」と訳せますが、作者は法師のどのような失敗からこのように考えているのですか。文章中に出てくる寺や神社の名称を用いながら、現代語で簡潔に説明しなさい。(2点)

(7) この文章の作者と作品名をそれぞれ漢字で答えなさい。(各1点)

六、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

与一、鎬を取つてつがひ、よつ引いて①ひやうど放つ。小兵といふぢやう、十二束三伏、弓は強し、浦響くほど長鳴りして、あやまず扇の要際一寸ばかりおいて、ひいふつとぞ射切つたる。鎬は海へ入りければ、②扇は空へぞ上がりける。しばしは虚空にひらめきけるが、春風に一も二もみもまれて、海へさつとぞ散つたりける。夕日の輝いたるに、皆紅の扇の日出だしたるが、白波の上に漂ひ、浮きぬ沈みぬ揺られければ、③沖には平家、舟端をたたいて感じたり。陸には源氏、簾をたたいてどよめきけり。

あまりのおもしろさに、感に堪へざるにやとおぼしくて、舟の内より年五十ばかりなる男の、黒革緘の鎧着て白柄の長刀持つたるが、扇立てたりける所に立つて舞ひしめたり。伊勢三郎義盛、与一が後ろへ歩ませ寄つて、「④御定ぞ、つかまつれ。」と言ひければ、今度は中差取つてうちくはせ、よつ引いてしや首の骨をひやうふつと射て、舟底へ逆さまに⑤射倒す。⑥平家の方には音もせず。源氏の方には、また簾をたたいてどよめきけり。「あ、射たり。」と言ふ人もあり、また、「⑦情けなし。」と言ふ者もあり。

(1) 傍線①は擬音語ですが、同じく擬音語で、矢の音を表している部分がもう二か所あります。それぞれ四字と五字で抜き出して答えなさい。(各1点)

(2) 傍線②と対句になっている部分を十字以内で抜き出して答えなさい。句読点は含みません。(1点)

(3) 傍線③とありますが、敵である平家の人々がこのような反応を示したのはなぜですか。当時の武士の価値観を元に、説明しなさい。(2点)

(4) 傍線④の内容を具体的に答えなさい。(1点)

(5) 傍線⑤とありますが、どのような矢で射たのですか。文章中から抜き出して答えなさい。(1点)

(6) 傍線⑥とありますが、これはなぜですか。適切なものを次から一つ選びなさい。(1点)
ア 戦を中断させるような乱暴な行動を残念に感じたから。

イ あまりにも見事な腕前に言葉も出ないほど感動したから。
ウ 舞を舞っている人間を射ると思わず、驚いたから。

エ 今では戦の最中だと思い出し、戦う気持ちになったから。

(7) 傍線⑦とありますが、どのようなことに対して言っていますか。
現代語で簡潔に説明しなさい。(2点)

(8) この文章の作品名を漢字で答えなさい。(1点)

七、次の漢詩を読んで、あとの問いに答えなさい。

春望

杜甫

国破^レ山河在^リ

城春^{ニシテ}草木深^シ

感^{シテハ}時^ニ花^{ニモ}濺^ギ涙^ヲ

恨^{シテハ}別^{レテ}鳥^{ニモ}驚^{カス}心^ヲ

烽火連^{ニナリ}三月^ニ

家書抵^{タル}万^ニ金^ニ

白頭搔^{ケバ}更^ニ短^ク

渾^テ欲^ス不^ズ勝^ヘ簪^ニ

(1) 傍線①はどのようなことを意味していますか。

適切なものを次から一つ選びなさい。(1点)

ア 戦乱で、親友と決別したこと。

イ 戦乱で、故郷を去ったこと。

ウ 戦乱で、一家が離れ離れになったこと。

エ 戦乱で、兄弟同士で争ったこと。

(2) 傍線②は「」に相当する(ほど貴重だ)と訳しますが、

何が何に相当するのですか。次の文の【A】【B】に

当てはまるようにそれぞれ漢詩の中から抜き出して

答えなさい。(両正当で1点)

○【A】が【B】に相当するほど貴重である。

(3) 傍線③を書き下し文にしないさい。(1点)

(4) この漢詩の主題を次から一つ選びなさい。(1点)

ア 戦争で自然を破壊する人間の身勝手さに対する怒り。

イ 花や鳥に満ちた美しい春の情景を楽しむのどかさ。

ウ 永遠を感じさせる自然の雄大さに対する賛美。

エ 世の中のあるさまや自分の不幸な境遇に対する嘆き。

(5) この漢詩の形式を次から一つ選びなさい。(1点)

ア 五言絶句 イ 七言絶句

ウ 五言律詩 エ 七言律詩

(6) この漢詩の中で、聯の中の二句が対句になっていないものを次から一つ選びなさい。(1点)

ア 首聯 イ 頷聯 ウ 頸聯 エ 尾聯

(7) この漢詩の中で押韻となっている漢字を四つ抜き出して答えなさい。(全正当で2点)

問題は以上です。お疲れ様でした。